



■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲警告 …取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意 …取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険および物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

■適用機種

- 鏡板なし戸袋を使用している場合
- 連窓用戸袋を使用している場合
- 鏡板付き戸袋のテラス2枚建て用戸袋を使用している場合

■部品箱

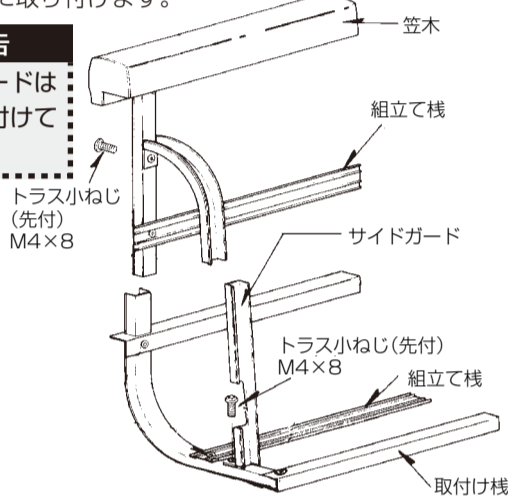
| ●補助ポール | | ●部品箱 | |
|--------|----------|-----------|---------------|
| | H45(マド用) | H60(テラス用) | |
| ブロンズ用 | HCABA45 | HCABA60 | ブロンズ用 HCBBA03 |
| ホワイト用 | HCAWA45 | HCAWA60 | ブロンズ用 HCBWA03 |
| ブラック用 | HCATA45 | HCATA60 | ブロンズ用 HCBBA03 |
| | | | ブロンズ用 HCBWA04 |
| | | | ブロンズ用 HCBWA04 |

■取付け順序

1 サイドガードの取付け

●笠木にテープ止めされているサイドガードを、手すり両端に取り付けます。

▲警告
●サイドガードは必ず取り付けてください。

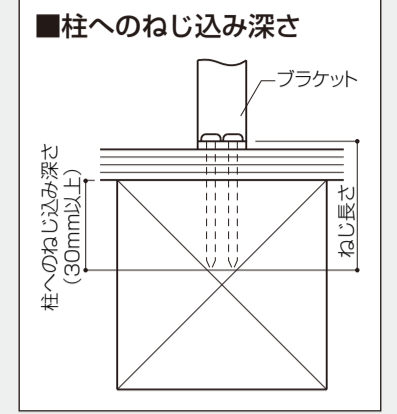


2 手すりの取付け

- 1 手すりの取付け機に、ジョイント金具を取り付けます。(A部)
- 2 戸当り縦枠に、ブラケット台座取付け位置を出し、φ4.5の下穴をあけます。(B部)
- 3 戸当り縦枠にブラケット台座・ブラケットAを固定します。(B部)
- 4 ジョイント金具を雨戸一筋に引っ掛け、仮止めします。(A部)
- 5 ブラケットAに笠木を固定します。(B部)
- 6 補助ポール裏板を使って、補助ポールにブラケットを固定します。(C部)
- 7 笠木をブラケットに固定します。(C部)
- 8 ブラケットFとGを組み合わせて補助ポールに取り付け、躯体にねじで固定します。
※ブラケットGが柱の位置に取り付けられない場合は、ブラケット取付け板を使用します。
※外付型連窓戸袋と内・半外付型連窓戸袋とは、固定する穴の位置が異なります。[イ部詳細図]を参照してください。
※ブラケットFとポール締付け金具の固定位置を確認してください。(ロ部詳細図参照)
- 9 雨戸一筋に仮止めしたジョイント金具を、完全に固定します。(A部)

▲警告

- 手すりの落下・転落防止のため、下記事項を厳守してください。
- 1. 当製品は木造躯体専用です。ALC・RC等の躯体には使用しないでください。
- 2. 発泡材を使用した(充填又は張合わせ等)金属サイディングの外壁には後付けしないでください。
- 3. 取付け前に必ず、柱・間柱・窓台の位置・寸法、外壁材・下地材の厚さを建築図面で確認してください。
- 4. サイディング通気工法の場合、取付け位置に胴縁があることを確認してください。
- 5. ブラケットは必ず柱に、指定のねじで取り付けてください。柱のない部分には取り付けしないでください。
- 6. 柱へのねじ込み深さは30mm以上確保してください。
- 7. 壁厚が30mm以上の場合は、厚壁用のねじを使用してください。
- 8. 強度・防錆性を保つため、必ず指定のブラケット・ブラケット台座・ねじ類を、指定の数量使用してください。
- 9. 外壁のパカ穴は、柱まであけないでください。
- 10. 手すりにのったり足をかけたりしないでください。また、重いものをのせしないでください。
- 11. サイドガードは必ず取り付けてください。
- 12. 躯体に下穴をあける場合は、ねじの外れ防止のため、φ5のねじにはφ3.5、φ4のねじにはφ3のドリルを使用してください。
- 13. 手すり取付け後、笠木をゆすってガタツキのないことを確認してください。
- 14. 雨戸サッシの種類によって手すりの出幅が異なるため、ブラケットとポール締付け金具の固定は必ず指定の位置を使用してください。

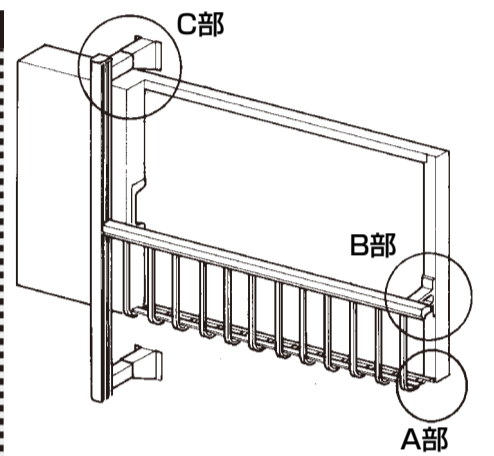


▲注意

- ねじ部からの漏水防止のため、躯体の下穴には、必ずコーキング材を充填してください。
- 補助ポールの裏板には、上下があります。刻印(上)を上にして取り付けてください。

▲警告

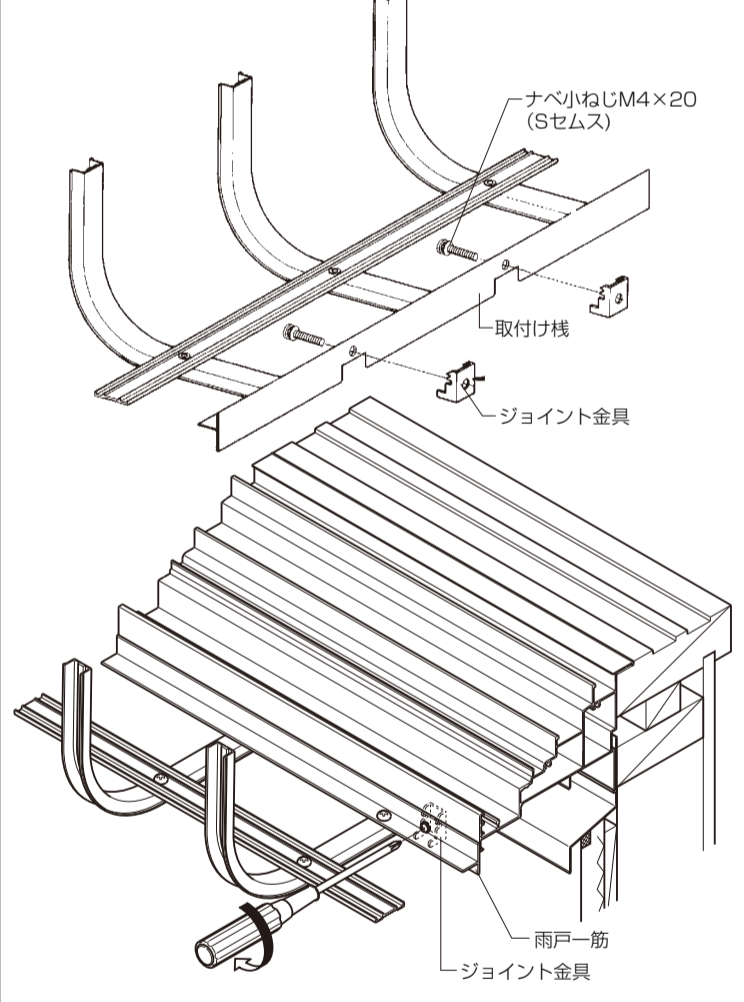
- ブラケットは必ず柱に、指定のねじで取り付けてください。柱のない部分には取り付けしないでください。
- 強度・防錆性を保つため、必ず指定のブラケット・ブラケット台座・ねじ類を、指定の数量使用してください。
- 躯体に下穴をあける場合は、ねじの外れ防止のため、φ5のねじにはφ3.5、φ4のねじにはφ3のドリルを使用してください。
- 手すり取付け後、笠木をゆすってガタツキのないことを確認してください。



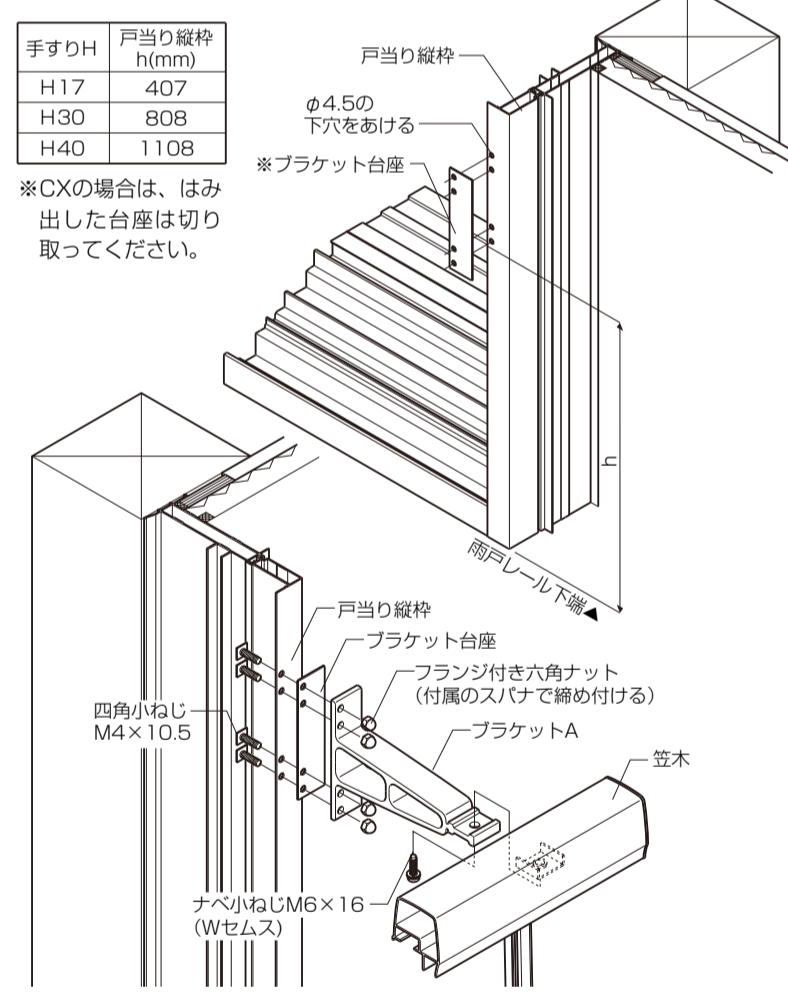
▲注意

- 補助ポールの裏板には、上下があります。刻印(上)を上にして取り付けてください。

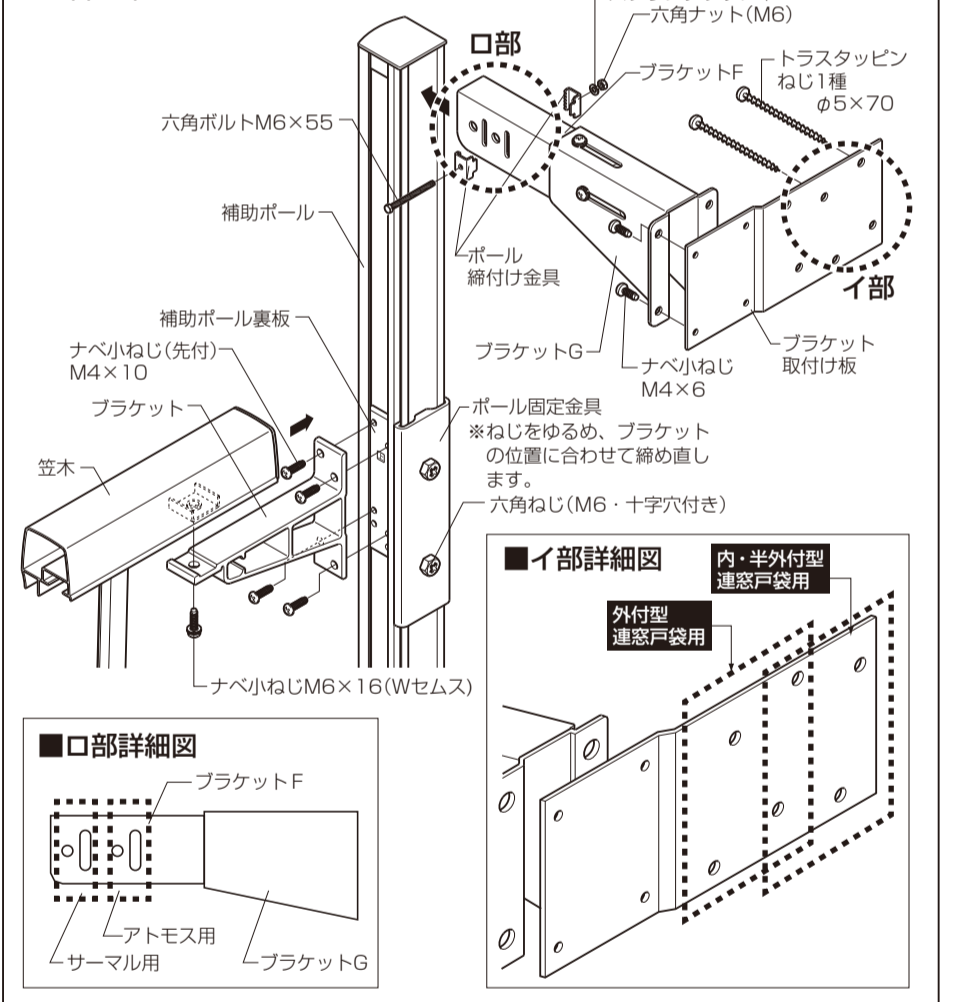
●A部の組立て



●B部の組立て

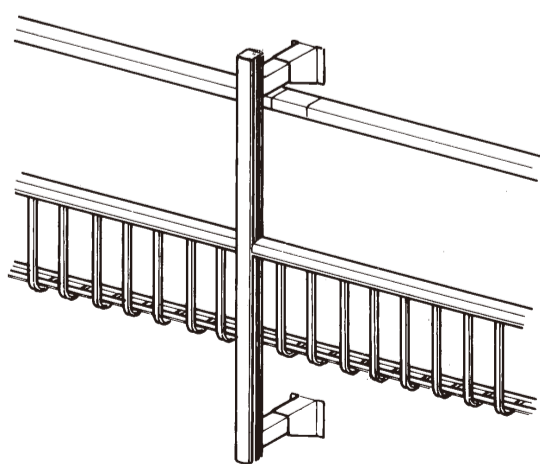


●C部の組立て



■手すりを連結する場合

- 1 ブラケットFとGを組み合わせます。
 - 2 補助ポール裏板を使いブラケットAを固定します。
 - 3 笠木をブラケットAに固定します。
 - 4 ブラケットFを補助ポールに取り付け、ブラケットGを躯体に固定します。
- ※ブラケットFとポール締付け金具の固定位置を確認してください。(ロ部詳細図参照)



●詳細図

